

自然公園制度の今後の在り方に対する自然環境部会での意見概要

- 新型コロナウイルスへの対応方針を関係省庁や各地域が定めているが、特にエコツアーガイドについて、それらを踏まえた自然公園の利用方針を整理しないと混乱が生じる。
- 近い将来、インバウンド利用者が増えることも想定し、各地域の多様な環境・文化を活用した、住民参加型によるエコツアーのメニュー、ルールの個性化が求められる。各地域における自然と人との関係性の在り方、ルール化を環境省が積極的に誘導して進める必要がある。
- 自然公園の利用にあたり、野生生物などの利用者にとって興味がある情報の整備・提供が不十分である。調査を進め情報の充実を図るとともに、積極的な提供を行う必要がある。それにより、野生生物の活用と保全が進むと考えられる。
- 知床国立公園では利用者がヒグマに接近することが問題となっており、人身事故の懸念がある。安全確保のため、立ち入り禁止等の各種規制・権限を強化する必要がある。